

合同会社ファンファンかみいち

代表社員 御子柴 雅慶

古民家の持ち味を活かしたインバウンド向けゲストハウス

～分からないことや不安なことは支援機関へ相談～



左:代表社員 御子柴 雅慶/右:現地運営担当社員 細川 和子

★創業者概要

業種：宿泊業（旅館業法における簡易宿所）

住所：富山県中新川郡上市町石浦町31

雇用者数：3人（清掃を上市町シルバー人材センターに依頼）

創業：平成30年7月

電話番号：076-473-0085（地階 飲食店もぐらにて受付）

HP：<https://www.airbnb.jp/rooms/30057070/>

★事業概要

（同）ファンファンかみいちの役員の実家で料亭として使われていた築100年の古民家をリノベーションして、1日1組限定のゲストハウスを開業しました。

予約はAirbnb（エアビーアンドビー）のサイトから受け付けていて、国内のほか中国や台湾、マレーシアなどの東南アジア、イギリス、アメリカなど欧米からも20代を中心とした若い世代が良く利用しています。



ゲストハウス「松月」 外観

★事業の強み・ポイント

町中心部にあるゲストハウス「松月」は、「まち全体をホテル」と見立てて、お風呂と食事は提供しておらず、まちなかを回遊してもらうことをイメージしています。

創業年表

出来事

2016年	（株）電通の加形 拓也氏が上市町のまちづくりアドバイザーに着任
2018年	加形氏が、創業者である御子柴 雅慶と知り合う
2018年5月	現地を視察し、事業化に向けた検討を開始
2018年6月	伴走型小規模事業者支援推進事業 実施
2018年7月	（同）ファンファンかみいちが創立 古民家のリノベーションが開始される（上市町空き店舗活用等地域活性化事業費補助金）
2018年12月	旅館業法における簡易宿所の認可を取得しゲストハウス「松月」開業

創業しようと思ったきっかけ

平成28年から平成30年まで町役場のアドバイザーでもあった（株）電通の加形氏から、平成30年に「ゲストハウスをやりたいですね」と話があり、それから、現地を訪れ、地方創生として都市から離れている地方で宿泊事業をしたらどうなるかのシミュレーションをしようと考えました。

挑戦・学び

今回のような完全無人の形で、宿泊業の展開を行うのは初めての挑戦でした。当初、たくさんのお客さんが来られるとは思っていませんでしたが、実際には6～7割の方がインバウンドの人で、驚きでした。

創業支援を受けた感想

この事業を展開するには、金銭面的な支援も非常にありがたかったですが、それ以上に商工会や役場の方々が様々な相談に乗っていただき、そういった面での協力が良かったと感じています。

課題・今後の展開

現在は、コロナ禍で事業展開も難しいところではありますが、SNSなどといったツールを活用して、『来る理由づくり』や『周遊モビリティ』にも取り組んでいければ、それが、まち全体への好影響につながればよいと思っています。

この支援策を活用しました！

伴走型小規模事業者支援推進事業（実施：上市町商工会）

小規模事業者の事業の持続的発展を支援するため、小規模事業者による事業計画の作成及びその着実な実施を支援します。

上市町空き店舗活用等地域活性化事業費補助金（実施：上市町、上市町商工会）

中心市街地に位置する空き店舗等の解消による安心安全な住環境の確保及び買い物弱者の買い物利便性の維持向上を図るため、空き店舗等を活用した創業に要する経費に対し支援します。

- ①店舗改修に係る費用：補助率1/3、上限100万
- ②賃借料：補助率2/3、上限5万（1年目）・3万（2年目）

支援者の声

築100年を超える古民家を、インバウンド向け民泊施設として創業されるということで、下記内容を中心に協力させていただきました。

①資金繰り面でのアドバイス

創業当初は稼働状況が目標値に未達になることが想定されるため、賃借料補助金の活用や人件費等の固定費を低く抑えるなど、資金繰りに関する助言

②ターゲットへの有効な広報手段の提案

ターゲット層の要望に合わせた情報を、地元マスコミ（新聞社、テレビ、フリーペーパー）を活用し、効果的に発信する手法について提案
「美しい劔岳が仰げるゲストハウス」として観光客、町民に親しまれ、地域活性化につながっています。



上市町商工会
寺田 瑞穂